



葛谷栄一の
異見私見

たくなるのが、「早春賦」
「臘月夜」「花」等の唱

長時間

で、家内が地区会館を
が、「お母さ

今年は校もあつた
の午後4時から7時ま
で小学生や未就学児を
6時ごろ
しでいる

う間に咲いて、ハツと
散つてしまい、新緑が
出始めたかなと思つた
らすぐに、若葉を越え
て青葉になつてしまつ
た。そんな天候異変の
中ではあるが、3月、
4月になると口すきみ
で小学生や未就学児を
主な対象にして学童保
育をしている。これを
ルコール
「おむすびハウス」と
呼んでいるように、メ
インは子どもが自分た
ちでおにぎりを握つて
食べ、その後は思いつ
くの「お母

子どもたちに 伝えておきたい歌

伝えておきたい歌

からお母さのか半分で、あと半分として適當に対応した鳥を集まって、アーティストは唱歌や童謡をギターや、唱歌や童謡を何とも入れながら一で弾き語りして、子どもたちが憶えるまで曲か弾き語りするようちには露風箒としている。

発刊して北原白か（草語ともちい基本原書店から「身のまゝ
芥川龍之介等の的には新作であるのにバイ）を出してゐる。
西條八十や三木 対して、子守唄はいつ 子守唄の話とともに、
寺も参加して作ら の昔からか口伝えされ 出会いを得た人々との
のが童謡であり童 てきたものだ。その子 心の交流が満載されて
されている、こと 守唄を歌うことのでき いる。
守唄を歌うことのでき った。唱歌にもい る世代は消え去りつ
が多いが、子ども つ。（農的社會デザイン研
究所代表）

きり遊んでいくところにあり、そうした中に一部、勉強する子どもが交じる。この「おむすびハウス」の毎月最終水曜日は、終わりの時間を8時過ぎまで延長しておきたいという

は筆者もギターを背負つて必ず参加している。勿論、演奏を始めるど、筆者のねらいはお母さんたちと話をするこ

とによって、今の子育てや学校の状況等を分かっておきたいという

常小学年1941年
1月号

「読本唱歌」からたちは最高のものを
4年の「高等科」伝えたいという一流の
までの教科書作家や詩人、作曲家の
された楽曲を指熱い思いが童謡には込
。これに対し、められていることを実
しいものをさを感じ納得する。

歌唱や説話を政府が主導し、いくこと

ところで私の世代で、これまでが馴染んでき
るものに子守唄がある。いないといいながら記

先生である原莊介氏は、子守唄の研究家でもあり、山梨県奈良田温泉に「奈良田の子守唄」を収集するのにご一緒したことがある。老女がもう何十年も歌つて

に反対して、その子守唄は唱歌にも憶をだりつつ歌を聞
1918年 童謡にも含まれない。かせてくれた。筆者に
に鉛木三重 唱歌の一部にスコット とっても貴重な体験で
吉が「赤い ランドの民謡も混じる あつた。その原氏は藤
発刊して北原白 が、童謡とともに基本 原書店から「男のララ
井川龍之介等 の的には新作であるのに バイ」を出している。
は西條八十や三木 対して、子守唄はいつ 子守唄の話とともに、
守も参加して作ら の昔からか口伝えされ 出会いを得た人々との
のが童謡であり童 てきたものだ。その子 心の交流が満載されて
されていること 守唄を歌うことのできる いる。
った。唱歌にもい る世代は消え去りつつ (農的社會デザイン研
が多いが、子ども 究所代表)

のギター・弾語りの
ある原莊介氏は
嶺の研究家でもあ
山梨県奈良田温泉
奈良田の子守唄
集するのに一緒に
ことがある。老女
う何十年も歌つて
いといながら記
たどりつつ歌を聞
てくれた。筆者に
ても貴重な体験で
た。その原氏は藤
店から「男のララ
」を出している。
唄の話とともに、
いを得た人々との
交流が満載されて